



留学生と語り合う No. 70

RKKニュース (2018年 新年号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

RKKフェスティバル 2017 開催!

11月23日(祝日)、かながわ県民センターにて「RKKフェスティバル 2017」を開催し、100人近くの参加を得て、無事、盛況のうちに終わりました。

この一大イベントは第13回目、恒例の日本語スピーチ大会と5回目の文化祭を同日、同一会場で開催したオールRKKの全員参加型イベントです。

日本語スピーチ大会には、7人の留学生が出場しました。今年も、映像によるプレゼンテーションを一切やめたことにより、スピーチの原点に戻って、「言葉の力」を存分に発揮することができました。

恒例の山田先生の講評は、発表者一人一人のスピーチを的確にレビューされ、わかりやすくまとめてくれました。スピーチ大会では学習者とチューターと一緒に日本語学習をした努力の成果発表会でした。

文化祭では会員の作品である写真、絵画が展示され、日本文化の茶道、書道、囲碁、将棋、伝統遊戯そして似顔絵などのワークショップを設け、パフォーマンスとして、中国文化の二胡と中国歌謡、日本文化のお琴と地唄舞いの披露がありました。文化祭は、留学生と日本人にとつての異文化理解の場であり、また趣味・特技を通じて輪を広げ、絆を深めていく絶好の機会となりました。

【付記】・RKKフェスティバル 2017 写真集および日本語スピーチ大会草稿集はホームページに掲載
(萩原 記)

RKK Festival 2017!

The RKK Festival 2017 was held at Kanagawa Kenmin Center on Nov. 23rd. It was a very successful event with nearly 100 participants.

This big event, in which every RKK members can participate, combined the 13th annual Japanese speech contest with the 5th cultural festival at the same place on the same day.

The seven international students entered the Japanese speech contest. They fully demonstrated their power of words by getting back to the basics of speech without using a screen in presentation this year too.

Mr. Yamada reviewed each speech accurately and clearly in his annual feedback. It was a place for the students and their tutors to show the results of their efforts studying Japanese together.

In the cultural festival, pictures and paintings of RKK members were displayed, and various workshops of Japanese culture, such as tea ceremony, calligraphy, the game of Go and Shogi, traditional games, and drawing portraits, were held. Participants also enjoyed Chinese and Japanese cultural performances, such as Nico (two stringed Chinese instrument), Chinese folk songs, Koto (long Japanese zither with thirteen strings) and jiu-tamai (jiuta dance). For the international students and Japanese participants, this was a great opportunity not only to understand other cultures, but to deepen mutual bonds expanding each circle through hobbies and special abilities.

* The photo album of the RKK Festival 2017 and the drafts of the speech contest are posted on the RKK website. (Translated by Azusa Sugita)

お知らせ

日本語の教え方ブラッシュアップ講習会

会場 かながわ県民センター

日程 1) 2月 4日(日) 9:30~11:30

2) 2月 17日(土) 10:30~12:30

3) 2月 24日(土) 10:30~12:30

詳細はHPをご覧ください。(http://rkk.world.coocan.jp)



Visit to National Printing Bureau

Date : March 27, 2018 (Tues.)

Meeting : 12:40 at Kozu Station, JR Tokaido Line

Place : National Printing Bureau Odawara

For details, scan QR code and find the above event. Please register for participation.

RKKフェスティバル



第13回 日本語スピーチ大会開催

日本語スピーチ大会(13回目)では、7人の留学生が日頃、学んでいる日本語でスピーチいたしました。今年の日本語スピーチ大会では、スピーチした留学生には、青春の一時期、日本で頑張りたいと輝いていた自分への思い出として、また、留学生のこれからの活躍を祈念して、スピーチの状況を録画したDVDを作成し贈りました。



留学生のしっかりとしたスピーチができたのも支援されたチューター皆様のご尽力の賜物と感謝いたします。(布津 記)

氏名	テーマ	出身国	所属
黄 立志 (コウ リッシン)	偏見をなくして仲良く行きましょう	中国	横浜国立大学
趙 曦千恵 (チョウ ギチエ)	外国人になった私	中国	横浜国立大学
グエン ワン フィ	私の夢	ベトナム	横浜国立大学
周 園 (シュウ エン)	ゴミ分別について思う	中国	横浜国立大学
呉 華章 (ゴ カショウ)	私の夢	中国	横浜国立大学
李 恩美 (リ ウンミ)	人と会う事	韓国	横浜国立大学
柳 懿秦 (リュウ イシン)	横浜での生活について	中国	横浜国立大学

第5回 文化祭開催さる

11月23日、恒例の文化祭がおよそ100人の参加者を得て盛大に開催されました。

日本人会員による多くの絵画、写真の作品に加え今年も中国の張媛媛さん、インドの Samantha Rhea Walia さんが力作を出展し、参加者の目を楽しませてくれました。

ワークショップは、囲碁将棋、茶道、絵画、書道、伝統遊戯、似顔絵とバラエティーに富み、茶道では美味しい和菓子を味わいながらお茶を楽しみ、書道では自分の名前に当てはまる漢字を探して書き、絵画では先生の原画をもとに水彩画を描き、伝統遊戯では日本の昔の子供たちの遊びを楽しみました。福笑いでは奇妙な顔になってしまい大笑い、囲碁将棋はみんな真剣勝負でした。いつも人気の似顔絵は今年も大勢の人で順番待ちの長い行列でした。富志乃清恵さんには琴の指導もいただきました。留学生にとっては日本の伝統文化に浸ることができ、貴重な体験を楽しんだことと思います。



パフォーマンスは、劉晋陽さんの二胡演奏 “時の流れ” で始まり、続いて中国歌曲2曲。次いで張家繪さんが中国伝統歌謡、オペラなどの独唱をしてくれました。中国の演奏、独唱の次は日本の伝統舞踊です。まず、富志乃さんに琴で “夕顔” を弾いていただきました。続いて地唄舞 “雪” を花崎しのさんに舞っていただきました。中国と日本の素晴らしい演奏、独唱、舞踊に参加者は感動に包まれ、大きな拍手が会場いっぱい沸き起こりました。

(徳屋 記)

RKK 5th Culture Exchange

Culture Exchange was held on 23rd/Nov. at Kanagawa Kenmin Center with some 100 participants. Many works of photo, painting by Japanese, Chinese and Indians were exhibited. Japanese tradition like IGO, SHOGI, Tea Ceremony, Calligraphy were performed. We also enjoyed workshop of painting, Japanese traditional game etc. We suppose international students could enjoy Japanese traditional culture. Chinese Miss Ryu played NIKO (Chinese traditional music instrument) and Mr. Chang sang traditional Chinese song and opera. Ms. Tomishino and Ms. Hanasaki played Japanese KOTO and dance. (Tokuya)

顧問からのたより

RKKへの思い

RKK顧問 志賀 一清 (横浜国立大学名誉教授)



おも わたし、
思えば私とRKKとのつながりは、吉澤さんを通して始まったのでした。当時、私は横浜こくりつだいがく りゆうがくせいcenter きんむ ひ
国立大学の留学生センターに勤務しておりました。ある日、大学の同窓である吉澤さんからお話しがあり、日本語養成講座の先生や留学生を紹介してほしいという依頼をお受けしました。吉澤さんの構想に賛同して動いたのが始まりで、後のRKK誕生にも関わらせていただくことになりました。ある年、平塚の吉澤さんのお宅に集まり、奥様が女性の留学生一人一人にきれいな浴衣を着せてくださり、皆で七夕祭りを見に行ったことも

ありました。みんな昔のことですが、なつかしいことばかりです。

試行錯誤で始まったRKKがすさまじい進歩を続け今日のような素晴らしい組織に発展するとは思ってもよらないことでした。中心になって活動して下さった方々の熱意、そして会員の皆様のご努力の賜物だと感動しております。また、そこには日本語の持つ独特の広がりも関係していることと思われます。言葉というものは不思議かつ力の強いものです。

この何年か入退院を繰り返しておまして、何の協力も出来ずにおりますが、RKKニュースをいただくたびに、その活発な活動に驚きと喜びを感じております。今後の世界に向けた日本の政策とともにRKKの活動範囲もまた展開し、更にとどまることのない発展を続けていくことでしよう。皆様のますますのご活躍を期待しております。

* 編者注：志賀顧問はRKKニュース No. 1(2000年秋)にRKKニュース発行記念のあいさつを寄稿されています。



会員募集中

RKKの活動に興味をお持ちの方はホームページをご覧ください。
入会申込書はホームページ「入会案内」からダウンロードできます。
ホームページは で検索いただけます。

よこはま夢ファンด์のご案内

横浜市には、ボランティア団体の支援を目的とした“よこはま夢ファンด์”の制度があることをご存知でしょうか。
このファンด์を通じてRKKの留学生支援活動を支援していただくことができます。ご協力をお願い申し上げます。
税制上の優遇措置など詳細は、 で検索して、



留学生からのたより

がいこく ひとりぐらし せいかつ

外国で一人暮らしの生活

ディア チャンドラ ハップサリス バギョ

(インドネシア) 東京工業大学



私は2016年10月、インドネシアから留学し始めました。どうして日本に留学したいかという理由は2014年に日本に6か月交換留学していたからだろうと思います。そこでいい経験をもたらしました。優しくて、面白い、面白い研究テーマを持っている先生に会えたり、友達もできました。したがって、交換留学生のプログラムの終了後、次の目標もう決めました。同じ大学と研究室に行けるように頑張りました。経歴書を出して面接して結果を教えてくださいました。私は合格しました。非常に嬉しいことでした。

でも、今回の一人暮らしの生活は交換留学生のとは違います。やっぱりマスター学生の生活は交換留学生の生活より大変です。しかし、色々な新しい経験をしました。日本人は私とは別の生活習慣とやり方を持っています。

日本では携帯電話番号をもらうことは簡単なことではない。チャージできるカードは必要だし、契約もしないといけません。私の国では提供者と契約をしなくても使える携帯電話番号をもらえる。また、アパートに引っ越したとき色々な問題がありました。まず、アパートを探す方法。私の国では部屋を借りたいとき自分でアパートを探したり大屋さんに会ったり色々な条件を話したりする場合があります。日本では前記のことを不動産屋さんでする場合がより多いと思います。ゴミの分ける方法も全然違います。日本の方法のほうが合理的だと思うので、こちらのゴミの分別方法の方が好きです。ですけど、一人暮らし生活を始めたばかりのとき勘違いしました。家の中の大きいダンボールが邪魔だと思ったので、入口の外の隣に置いておきました。そうすると、不動産屋に電話で叱られました。不動産屋は段ボールはゴミなので捨てる日以外に捨てることや、捨てる場所以外に出すことはいけないことだそうです。その問題から日本人の考え方とルールを学んでいきました。

買い物習慣も違います。Costco で買い物したとき特に面白い習慣を見ました。日本人は買い物とちゅうでどこに行っても、カートを持って行くことです。カートの中にあるものがまだ払ってない商品ですけど。買い物後、人々は休憩をとりました。食堂で食事していました。カートを食堂のそとがわにおいたまま食べていました。危ないことだと思います。

外国で一人暮らし生活は簡単なことではない。文化に慣れてなかったら、生活も楽にできない。日本人からアドバイスをしてくれることはいいことだと思います。私に色々なアドバイスをしてくれる人は、西村さんです。RKKで紹介してくれました。日本語練習とレッスンと日本の日常生活関係のアドバイスをもらうことは、いつもありがたいです。

これからも、もっと一生懸命日本語を勉強します。(原文のまま)

留学で得たこと

ディアアー・キントン・プスバニルム (インドネシア) フェリス女学院大学

2017年4月、春に日本へ来ました。来日してから9ヶ月も経ちました。日本へ来るまえに、日本でどんな生活するのだろうと思いつつ、日本での留学を楽しみにしていました。海外に住んだことない私は心配もしていましたが、自分の悩みをこえて自分をチャレンジしてみました。

日本語の勉強はもちろん真剣にやろうと思いました。それに、フェリス女学院大学で部活もやったり、学外のイベントにも参加したり、いろいろなことを挑戦したりしました。忙しかった毎日ですが、友達と一緒に過ごした時間はどんなに疲れてもとても楽しいでした。日本でたくさんの出会いができて、たくさんの人から元気をもらいました。

また、日本人との交流からたくさんのお話を学ばせてもらいました。留学に来るまえの私



は世間(せけん)しらずで我がまま(わがまま)の者(もの)でしたが、日本で思いやり(おもひやり)についてなりました。周(まわ)りの人の気持(きもち)ちを考(かん)えて、自(みづか)分の行動(こうどう)に注意(ちゅうい)する必要(ひつよう)があることがわかりました。留(りゅう)学(がく)でた(た)くさんのこと(こと)を学(まな)んで、自(みづか)分の考(かん)え方(かた)も変(か)わって、以(い)前(ぜん)より成(せい)長(ちやう)した自(みづか)分(ぶん)が日(に)本(ぽん)へ留(りゅう)学(がく)に來(き)てよ(よ)かつたと思(おも)っています。これ(こ)れから國(くに)に帰(かえ)つても、日(に)本(ぽん)で学(まな)んだこと(こと)を一生(いっしやう)に忘(わす)れず(ず)に、頑(がん)張(ちやう)つてい(い)こうと思(おも)います。(原(げん)文(ぶん)のま(ま)ま)

にほん し RKKで日本をもっと知る

チン ティ タオ (ベトナム) 横浜国立大学

私はベトナムから来たチン・ティ・タオと申します。2014年4月に来日し、現在、横浜国立大学の2年生で建築都市・環境系学科の都市基盤EP (Education Program) に所属しています。



先輩の紹介で2016年5月にRKKに入って、それから見学やスピーチ大会などRKKの様々な活動に参加するようになりました。RKKが行っている見学活動は日本の工場に行くような科学的な見学もあれば、山登りや築地市場に行くようなこともあれば文化的な見学もあります。工場見学に参加することで実際に現場に行き、説明を聞き、目で確かめることができ、理系の人間である私にとって座学より日本の技術を勉強するいい機会となります。

日本に住んでいるからこそ日本の文化を知らないというのは日本留学というチャンスもたいていなくなると私はよく思っています。そのため、自分が勉強している分野に関する見学だけではなく、日本の文化が味わえるような見学も積極的に参加しています。RKKの方々(かたがた)に連れて行ってもらった見学活動を通して、他国の留学生と交流したり、日本の文化を実感したりすることができて、異文化でいろいろ困っている留学生の私にとって非常に貴重な体験だと思っています。

見学のほかに、1か月2回ぐらいRKKの深水さんと会って、勉強会を行っています。勉強会で新聞やエッセイなどを読んで、新聞に取り上げられたことについて深水さんに説明をいただいたり、意見を交換したりして日本語の勉強にも社会知識の勉強にもなります。

RKKに参加して、日本語だけではなく様々な活動を通じて日本の多様な面に触れて、日本をより知ることができます。RKKの方々に出会えて、日本留学の生活をより楽しく過ごしています。(原(げん)文(ぶん)のま(ま)ま)

かぞく きずな むす か はし 家族の絆で結ぶ懸け橋

ちやう せんせん
張 媛媛 (中国) 東京藝術大学

私は東京藝術大学油画技法材料研究室修士1年生、張 媛媛と申します。中国からの留学生です。日本に来てから一番良かったことは五年前にRKKの大久保都代美先生にであったことです。私にとって日本のお母さんという存在です。

生活も勉強もずっと支えてくださったお陰で、日本で楽しく勉強しています。

先生は日本の食文化を教えてください、よくうちに誘って、美味しい料理を作ってくださいました。芸術大学修士入学試験を受けた時、自信がなくて、不安になった

とき、いつも、応援してくださいました。先生へ合格を報告したとき、彼女は嬉しくてお家で家族パーティを開いてくださいました。わたしは日本人の真の心に感動させられました。

私は中国の大連大学の美術学部で勉強しました。当時は、ヨーロッパルネサンス、中世の絵画作品にとても興味がありました。古典技法を学びたかったのですが、しかし、当時も、今でも、中国の大学でほとんど現代アートをやっています。



す。ヨーロッパ留学して戻ってきた人も現代美術をやっています。古典技法を教えることができる研究者がいないです。中国人が西洋古典技法に関心がないからではなく、ただ、ヨーロッパでは古典技法すべて、廃れてしまいました。ヨーロッパに行っても、勉強することができません。しかし二十世紀初頭になって日本研究者がその古典技法の研究を進めて、多くの成果を上げています。それで、日本に留学してきました。

私は横浜国立大学大学院一年目から、中世古典技法テンペラについて研究し始めた。当時は日本語があまり、上手ではなかったので、論文を書くのは大変でした。先生はいつもお宅で指導くださったり、深夜にも、ラインで論文を修正してくださいました。先生が丁寧に指導してくださいましたおかげでテンペラと油彩の混合技法に用いるラズールを応用した色彩の重層構造による中国宋時代のメチエの再現研究した論文を書きました。

その後、東京藝術大学大学院技法材料研究室においてこの研究を進展させ、エンカウスティーク(焼き付け顔画)により、生麻布にメチエとしての院体画の質感を抽出させる試みを研究しています。

将来は指導者として日本で研究した成果を中国大学の授業に応用したいです。中国の若い世代に日本のことが理解できるように、日本人の真の心を紹介します。さらに芸術家として、日本と中国両方で絵画を発表して、日本芸術家と中国芸術家交流する懸け橋になりたいです。お互いの考えが理解できて、中国人と日本人の溝を埋めることができるし、それは世界平和に貢献出来ると信じています。(原文のまま)



日本語支援活動

わたしにほんごしえんこうりゅう 私の日本語支援と交流 大学院入試の合格を目的として

中央地区交流会 山上 正明

私が現在担当しています留学生は、大学院合格を目指している研究生です。そのために会話力と読解力の向上を希望しています。このような希望に応じるために、留学生と相談した結果、次の3つの学習方法を選択しました。

1. フリードールキング(約20分間)

この一週間で気づいた疑問や出来事について話し合います。この学習の目的は主に入試の面接対応です。質問内容の理解と応答の会話力を身につけるためです。

2. 新聞記事読解(約20分間)

適切と思われる新聞記事を読み上げて、理解できない内容や読めない漢字熟語などについて学習します。この学習の目的はペーパーテストの問題文の読解力を身につけるためです。

3. テキスト学習(約50分間)

適切なテキストを用いて、文章力を向上し、問題解答のレポート作成力を高めることを目的としています。同時に会話力と読解力の向上にもつながっていきます。

以上が現在、支援している留学生への学習支援内容の概要です。皆様のご参考になれば幸いです。

RKKの目的(国際交流・親善)を念頭において、楽しく学習していくことに努めていきたいと思っています。



かまくらかんこうに ほんごがくしゅう いちいち 鎌倉観光日本語学習の一日

湘南地区交流会 岩瀬 暢男

けんみんセンターが年末休館の一日、9階の会場を鎌倉に移しての観光日本語クラスを行いました。暮と正月も大学に行って研究を続けますと言う留学生の房 宝軍さん(横国大博士2年)の言葉から、休館とこの時節を生かして街に出かけての日本文化体験をしようということになりました。

行先は鎌倉大仏、長谷観音、鶴岡八幡宮です。江ノ電に乗ればスラムダンク オープニングとという言葉がすぐ出てくる。全体が金箔で覆われていたという大仏を仰ぎ見て驚いた後、胎内拝観でその構造に感嘆です。次に訪ねた場所は9mの巨大な金箔木造立像の長谷観音と、さらに市街地全域と由此が浜が見渡せる観音山です。昼食は外国人観光客で賑わう店でしらす丼にライ、「エビの一種ですか?」との質問が出る一確かに背が曲がっています。

最後は段葛とその延長が海まで直線に続く光景の鎌倉八幡宮へ。国宝館の「北斎と肉筆浮世絵」展は残念ながら年末休館中でした。案内表示に「雪中張飛図」(Zhang Fei in snowfall)の文字と絵を見つけ、三国志と日中の歴史に関する難しい日本語の話題に。そして、小町通りでの画廊鑑賞と大勢の和服姿の女性たちに見とれながら帰路につきました。時には「語り合う」場所を変えるのもお互いの気分転換に良いと感じました。



「あーすぷらざ」の日本語学習・支援者の集いに参加して 「資格が必要ですか?」

湘南地区交流会 岩瀬 暢男

「資格が必要ですか?」、「キャリアアップの機会がありますか?」、これら2つは何れもRKKブースに寄せられた質問でした。2017年11月4、5日の2日間、神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぷらざ)で行われた「日本語学習・支援者の集い」の中で、「あなたもやってみませんか、日本語教育支援ボランティア」出会のカフェ」の部において、RKKブースで約2時間の説明を行いました。説明はRKK会員(筆者)だけでなく、留学生の劉 幼婷さん(横浜国際教育学院)にも応援に来ていただき、来場者へのアピールに大変助かりました。RKKに興味を持たれた人のうち2人の方からは前記2例のような質問の他、「留学生との語り合いの場面で不安点や日本語による接し方について相談できる機会があるのでしょうか」、「現役に働いていますが、できるでしょうか」との質問も出されて、入会に関心のある方が抱く不安を改めて理解しました。

今回のブースは「あーすぷらざ情報フォーラム」からRKKへの誘いを受けて行ったものですが、今後ともこのような機会をとらえて広くRKKの活動の様子を訴えると共に、関心を持つ方の不安等を聞き、解決していきたいと考えています。



文化・ファミリー交流活動

第4回 かながわ留学生音楽祭

文化・ファミリー交流グループ 徳屋 英生

12月2日、横浜そごうデパートにある新都市ホールにて、第4回かながわ留学生音楽祭が開催されたので行ってきました。神奈川県に在住する留学生約40人による演奏会でした。RKK関係の留学生は中国の胡啓慧さん(琵琶)、劉音陽さん(二胡)、余乾生さん(バイオリン)、張家楠さん(独唱)、インドネシアのキンタンさん(インドネシア伝統舞踊)と5人も出演しておられました。忙しい勉強の傍ら趣味の域を超える演技を披露され、感銘しました。



中国語学習活動

楽しい中国語学習

中国語学習グループ 有泉 佳子

私共では、何度かRKKの中国人留学生をお招きしてホームビジットを致しました。その時ホストファミリーが中国語を話せたらもっと盛り上がるのに、習ってみたいと思いました。丁度その頃 長男家族が転勤で上海暮らしとなりました。孫の小学校入学やバレーの発表会等で、上海通いをしました。中国語を習ったら孫と繋がっている気分になれるのではないかと思います、RKKの中国語教室に入会しました。孫たちは5年で帰国しました。今、高校生になっていますから、私の中国語はかなり長いこと学習していることになりました。ここまで続けられたのも、我慢強くご指導下さる留学生の先生と答えに窮した時助け舟を出してくださる仲間がいて下さるおかげです。先生の中国文化についての話、中国人のものの考え方等の話も興味深いです。

1 昨年 中国語グループは桂林に旅行しました。その時の事です。ホテルの部屋の水回りが故障していました。私は頭の中の中国語の知識をフルに使ってフロントに電話しました。通じたのです。修理の人が来て直してくれました。火事場の馬鹿力です。中国語を習っていてよかったとおもいました。今年の旅行は何処へ行くのでしょうか。その日の為にもっと聴く力、話す力を付けたいと密かに思っています。



新入正会員のみなさまへ： よろしくお願ひします！

小川真樹（藤沢市）、葛原衣都（逗子市）、小嶋玲子（逗子市）、
大塚久夫（港南区）、臼田君代（戸塚区）、赤池みね子（磯子区）、
保延佳世子（磯子区）（敬称略）

委員会情報

がいくじんりゅうがくせい かか こくみんねんきんせいど 外国人留学生に関わる日本の国民年金制度

就活情報支援委員会 畔取 孝

ご存じですか？ 日本に留学している留学生は、日本人と同様にすべて20歳になったときから国民年金の被保険者となり、保険料の納付が義務づけられていることを！

現在、国民年金は国籍にかかわらず10年以上、保険料を納付(学生は納付免除制度あり)することで、65歳から国民年金を受け取ることができるようになりました。私たちが国民年金の仕組みを知り、就職する留学生に伝えられるようにしたいものです。内容は次の年金機構URLから確認できます。

<http://www.nenkin.go.jp/service/kokunen/menjo/20150514.html>

ところで、留学生には、日本人学生と同様に「学生納付特例制度」という納付免除の制度があり、申請により国民年金の保険料が猶予されます。そして、猶予されたこの在学中の期間も10年間の中に含まれます。例えば、2年間、大学院に在学し、卒業と同時に日本企業に就職をした場合、8年間働くと合計10年となり、国民年金を受け取る権利が発生することになります。※就職後の保険料は会社負担です。

なお、10年間保険料を納付した場合、65歳から受け取れる年金額は、現在では月1万6千円程度です。しかし、2年間の支払い猶予期間(未払い)があると、受け取れる金額はその8割程度になります。また、納付期間が10年未満で帰国する留学生がありますが、出身国が日本と年金に関する協定が結ばれていないと、この期間が無駄になります。協定を締結した国は、まだ、20か国で、アメリカ、ドイツなどのほか、アジアでは韓国だけです。協定を締結した国の状況は、次のURLで確認できます。

<http://www.nenkin.go.jp/service/kaigaikyoku/shaho-kyotei/kyotei-gaiyou/20141125.html>

地区からのたより

大山登りで地区交流会

湘南地区交流会 楢原 弘之

時には、地区の名所などを散策しながらの地区交流会もよいのではないかと思い、11月5日、大山詣りを兼ねて湘南地区交流会を開催しました。湘南地区をはじめ、大山に興味のある会員(5人)、留学生(9人)の14人が参加しました。

このたびは、大山寺(途中駅)までケーブルカーに乗り、それから阿夫利神社(下社・海拔約700m)まではかなりの急坂(石段)をフーフーいながら登りました。神社を拝観したり、眺望を眺めたり、そして、紅葉も楽しめました。

留学生と大山のこと、神社のこと、紅葉のこと等々を話しながら、交流しました。

帰りはケーブルカーで下山しました。途中、「こま参道」で地元の名物のみやげ物を見ながら、また、今日は疲れましたね！などと話しながら、笑顔もあり、いろいろと話が弾みました。地区の名所、観光地等を散策すると話も弾み、留学生に日本を知ってもらうことにもなるようです。また、会員間でも散策だからこそ出る話もあり、交流の幅が広がるように思いました。帰りの駅で、解散時に留学生や皆さんから、遠足の気分であったと声をもらいました。



「第8回とつかお結び広場」イベントに参加して

西地区交流会 小島 明子

12月3日(日)、戸塚区総合庁舎で「とつかお結び広場」が開催されました。RKKは今年も日頃の活動をPRし、新会員勧誘を行いました。会場は様々な分野の団体、個人が参加し、賑やかに活気に溢れていました。また、皆さんが笑顔で明るく活動されていたのが印象に残っています。地域活動を通して来場者との交流が広がり、更に新しい繋がりが出来て行けば地域発展につながります。



RKKの出展ブースには、数こそ少ないでしたが、国際交流に関心のある幅広い年齢の方が来て下さり、大いに関心を持たれ、熱心に質問されていたのは大変嬉しく思います。これをきっかけに新しいお仲間が増えRKKの活動が更に広まり、より長く続いていくことを願っています。私は初めて出展スタッフとしてイベントに参加し、RKKの会員の方々々と和やかに交流でき、素晴らしい体験でした。

旭区「みなくるフェスタ」に初参加 ～盛り上がったステージ発表～

北地区交流会 笹本 文

昨年12月17日、「みなくる 10th フェスタ」に参加しました。日頃、北地区交流会で場所をお借りしている、旭区の「みなくる」開設10周年記念イベントです。パネル展示やブース展開は私達にとって初めての挑戦でしたので多少不安はありながらも、企画会議を重ね知恵を出し合いながら、なんとカパネル展示の模造紙などを仕上げて当日を迎えました。



集客が心配されましたが、映像やパネルを使っでの説明にも、案外多くの皆さんが耳を傾けてくださいました。そして、ブースの他に各団体に割り当てられた20分間のステージでは、RKKの宣伝のほか、横浜国大の留学生、王小双さんにお話をお願いしました。王さんとはとても魅力的な方で、以前スピーチ大会にも参加されており、その流暢な話しぶりに皆さん惹き付けられました。後半の中国語クイズでは、スタッフ手書きの漢字カードが大いに役立ち、足球(サッカー)、馬拉松(マラソン)など、見れば分かる言葉、聞けば分かる言葉、全く分からない言葉をクイズ形式で楽しく学びました。

出番直前にMC(司会)を依頼され、私も上手く盛り上げられるか自信がありませんでしたが、RKKの皆さんの応援にも助けられ、大いに盛り上がりました。色々プレッシャーはありましたが、最後に大きな拍手をいただいた時には心底肩の荷が下りました。リクルートに繋がらなかったのは残念ですが、これからも楽しく活動して行きたいと思います。他地区から駆け付けて下さった皆様にも深くお礼申し上げます。ありがとうございました。



RKKホームページをお訪ねください

ホームページは随時更新しており、「会員のひろば」も開設いたしました。「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画などの文化交流情報にも利用できます。

掲載希望の会員はメッセージをRKK広報委員会スタッフにお知らせください。

投稿先アドレス : sugita1526@ybb.ne.jp

掲載ホームページ : <http://rkk.world.coocan.jp/> または、[NPO RKK](#) で検索。

ホームページへのアクセスには、右のコードをスキャンしてください。

広報委員会では皆様からの広場への寄稿をお待ちしております。

広報委員会



おもな活動(2017/11 から 2018/1 まで)

理事会

◇12/23 サポートセンターR711にて、第2回理事会が開かれ、活動グループ、委員会の担当理事からの報告と協議がされた。

スタッフミーティング

- ◇12/23 午後、サポートセンターR711にて27人のスタッフの参加のもと、2017年度第3回スタッフミーティングが行われ、活動グループ、地区交流会、委員会それぞれからのC&C(報告・連絡そして相談)を実施した。
またディスカッションタイムでは、11月23日開催の「RKK フェスティバル 2017」を振り返って、意見交換をした。

活動グループ

- ◇日本語支援 G: 日本語の教え方講習会は、46人の受講で、無事終了。11/23のRKKフェスティバルでのスピーチ大会には、留学生7人が発表。RKKフェスティバルには100人近くが参加。
◇文化・ファミリー交流 G: 11/23のRKKフェスティバルでの文化祭を主催し、好評を得る。
◇中国語学習 G: 11月から2月のコースは10人が参加。受講者増員のPRを推進。
◇社会・工場見学 G: 12月予定の見学は延期。3月に国立印刷局小田原工場見学を企画中。

地区交流会

- ◇東地区: 11/12に川崎市民活動センターにて7人での交流会および懇親会を実施。
◇西地区: 10/29に15人の参加で交流会を実施。12月3日の戸塚お結び広場に出展し、PR活動を推進。
◇南地区: 12/8に横国大弘明寺学生会館のウィンターパーティに参加。
◇北地区: 10/28に9人が参加し中華料理店で交流会を実施。12/17みなるくフェスタに参加しPR推進。
◇中央地区: 10/29に留学生3人を含め11人で交流会と昼食会を実施。
◇湘南地区: 12/6に12人の参加で、忘年会を兼ねた交流会を実施。11/5大山ハイキングに14人が参加。

委員会

- ◇会員委員会: 12/23 マッチング検討会を実施。新入会員の受入れ、マッチング業務の推進。
◇広報委員会: RKK ニュース 70号の編集。ホームページは適時更新。
◇就活情報支援委員会: 12/14に委員会を実施。就活支援情報メールの定期発信と就活サロンの運営。
◇企画委員会: 夢ファンド協力推進。
◇会計委員会: 月次精算・決算作業。講習会受講料振込み管理。
◇事務室: 理事会・スタッフミーティング開催準備。RKKフェスティバル準備。会員委員会サポート活動。

トピックス

横浜国立大学留学生会館ウィンターパーティに参加して

留学生会館(弘明寺)で恒例のウィンターパーティが12月8日(夕方)に開催されました。藤井先生の開会の挨拶、来賓の紹介などがあり、立食パーティが始まりました。会館内の談話室には、溢れるほどの留学生でした。

パーティには、交換留学生(短期)が比較的に多く参加し、西欧、中東、アフリカ等からの留学生が目につきました。中には、フランスとイタリーからの留学生も参加しており、フランスからの留学生は日本語を専攻し、すでに日本には4回目の留学(短期)だそうです。また、イタリーからの留学生は将来、日本で働きたいそうです。もちろん、RKK登録留学生の顔もあり、親しく話すことができました。



来賓は横浜南ローターリークラブ、RKK等で、RKKからは古谷さん、深水さん、布津が参加しました。(布津 記)

横浜地区中国留学生学友会 新入生歓迎会に参加

恒例の中国留学生学友会主催の“新生歓迎会 暨新老生交流会”（12月3日、横浜技能文化会館）に、参加しました。この中国留学生学友会は、会長（呉華章さん）や幹事（黄立志さん）等がRKKの留学生会員であり、さらに、多くの顔見知りの留学生も参加しており、親しく、いろいろと話しが弾みました。



一方、初顔の留学生との出会いもあり、さっそく二人の登録の希望があり、また、これまで交流がなかった東海大の学友会会長とも話す機会がありました。後日、RKKの活動を詳しく紹介することにしました。また、余興のイベントでは、RKKフェスティバルに出演してくれた劉普陽さん、胡啓慧さんの二胡、琵琶の演奏を楽しむこともでき、留学生と有意義な交流の機会でした。RKKからは布津さん、岩瀬さん、矢野さん、そして深水が参加しました。（深水 記）

留学生の皆さんへ / For International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・ 日常会話（Daily Conversation）
- ・ ビジネス会話（Business Conversation）
- ・ 卒論、レポートの文書指導（Writing Japanese Theses & Reports）
- ・ 新聞／書籍等の読解（Reading Newspaper & Books）
- ・ 日本語能力試験（Japanese Language Proficiency Test）
- ・ 就職活動（Job Hunting・Entry sheets/Interviews）

Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact: 津田(Tsuda) e-mail; sakura_tsudakei@ybb.ne.jp

Home Page : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Scan this code for getting application form



NPO法人 留学生と語り合う会



連絡先：〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

e-メール：rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax: 045-813-8327

ホームページ：<http://rkk.world.coocan.jp/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKKニュース編集：RKK広報委員会（新年号担当）深水智明 Jan.30.2018

転載をお断りします。